現代書部

山根青坡

今月は「お年玉出品券」を利用して現代書に初めて挑戦された方もいらっしゃったようで、大変嬉しく感じました。

作品に変化を出そうと、文字造形を崩してしまった作品はよく見えません。線質がしっかりしていれば正しい文字造形の中に色んな線の変化が出せ、作品に広がりができるのではないかと思います。色んな作品を観て感性を磨き、古典臨書で学び、作品に生かす…。なかなか思うように出来ないし、長い道のりだけれど、それが楽しいと感じて書に向かう日々を大切に過ごしたいものですね。

現代書部　課題

A　雨ののち　照る日しづけき春の日の　空に澄みゆく鳥は　さびしき

（折口春洋　歌）

B　摘草（つみくさ）の子は声あげて富士を見る

（横光利一　句）

（しめきり……四月十六日）

用紙
○A課題　小画仙角半、半切縦
○B課題　半切½ 縦・横自由

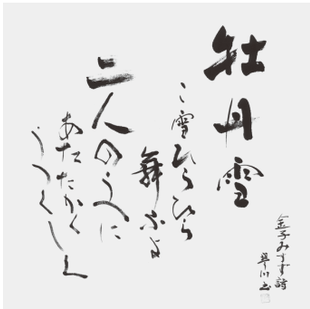
出品資格
一般および高校生

◉条幅出品券を作品の右下へ必ず貼付すること。

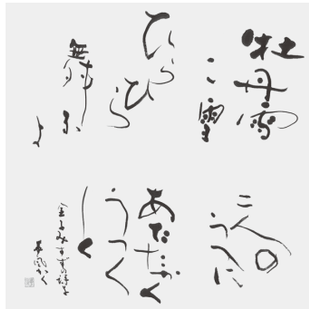
なお、作品の裏右下に氏名を忘れず記入のこと。

※A・Bの両方同時に出品可。

※二点出品の場合、出品券の下部にA・Bを明記のこと。

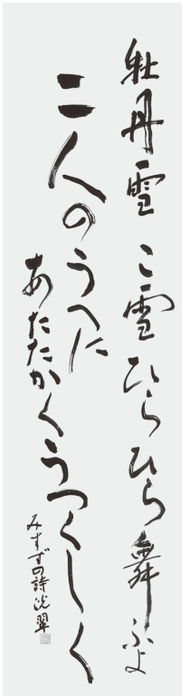


引場琴川

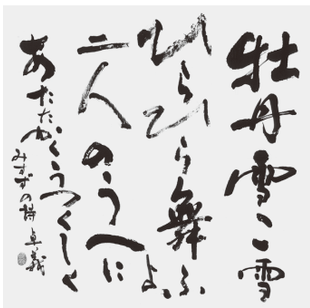


北野華風

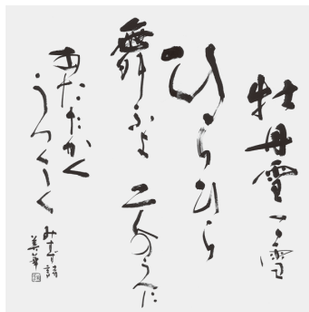
吉田純真



松﨑洸翠



西川卓義



佐藤美華

（選評）

A課題の部

琴川君　詩文のイメージを軽やかな筆の動きで表現した作。

華風君　踊るようなリズムの楽しい作。

卓義君　紙面を大きく使い潤渇大小の変化をつけ力強く表現した。

美華君　細いが力強い線で構成。空間が美しい。

純真君　詩のイメージを青墨で表現。牡丹雪の「雪」とひらひらの「ひ」が近づきすぎて雪に読めてしまうのが残念。

洸翠君　奇を衒うことなく書き進める姿勢に好感。潤渇の変化を出すと作品に立体感が出る。

B課題の部

彩園君　3ブロックに分け、中央の鳥でしっかり見せ場が出来た。

紗都花君　リズムに乗り楽しげに仕上げた若さ溢れる作。

栄子君　小ぶりながら空間が生きた品のある作品。

なつ美君　自然な流れで最後まで書きあげた。今後が楽しみ。

雅代君　太細の変化と動きで作品を大きく見せている。

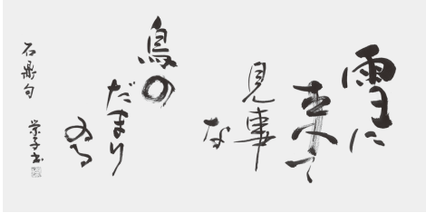
華峰君　伸びやかな線質で文字周りの空間の白が生きている。

紫煌君　豊かな墨量で潤いのある作品。下部2行に変化を。

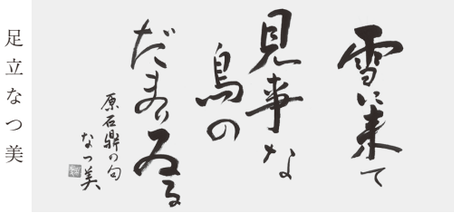
幸燁君　線の柔らかさ伸びやかさが抜群でリズム感あり。

鈴木彩園

松下紗都花

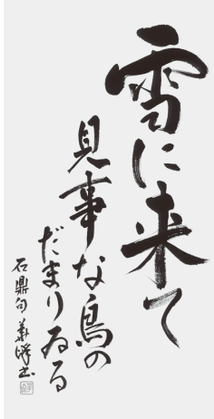


小柿栄子

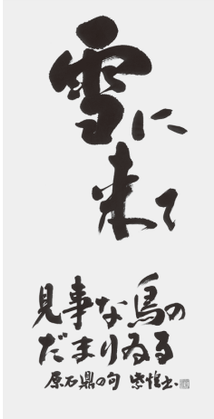


足立なつ美

高井雅代



中村華峰



山口紫煌

矢後幸燁